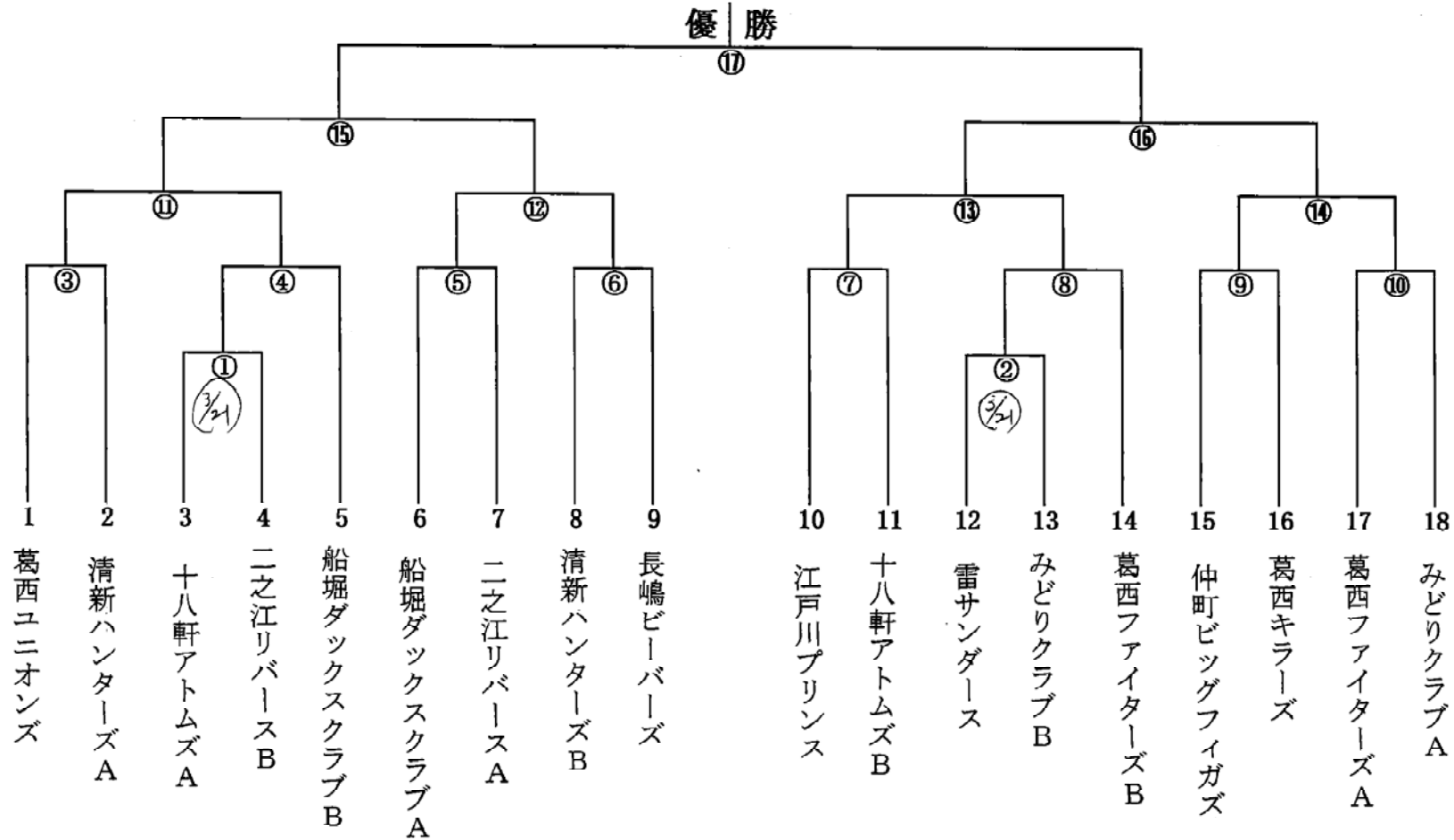


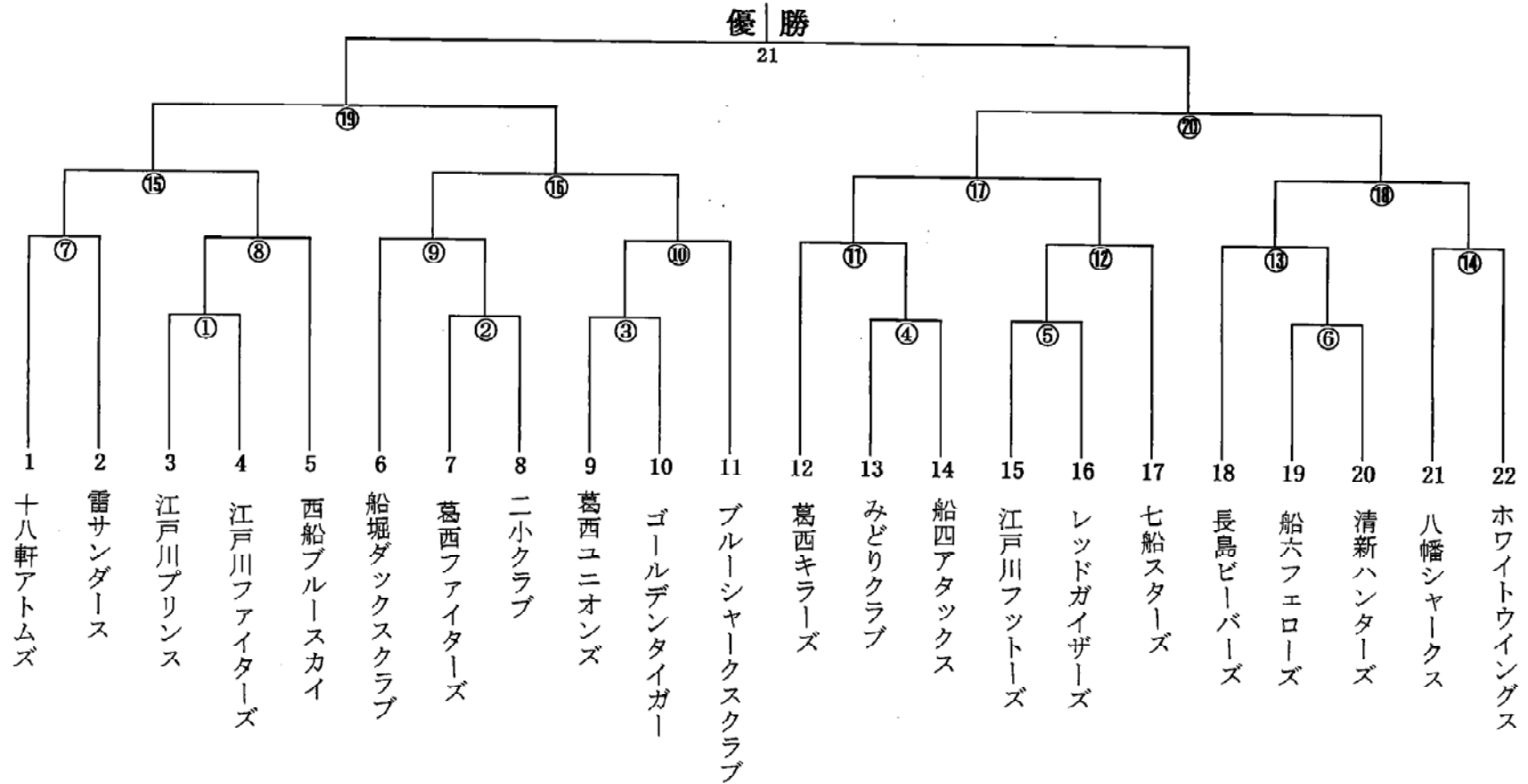
# 平成22年度・葛西少年野球連盟春季大会

## 中学の部



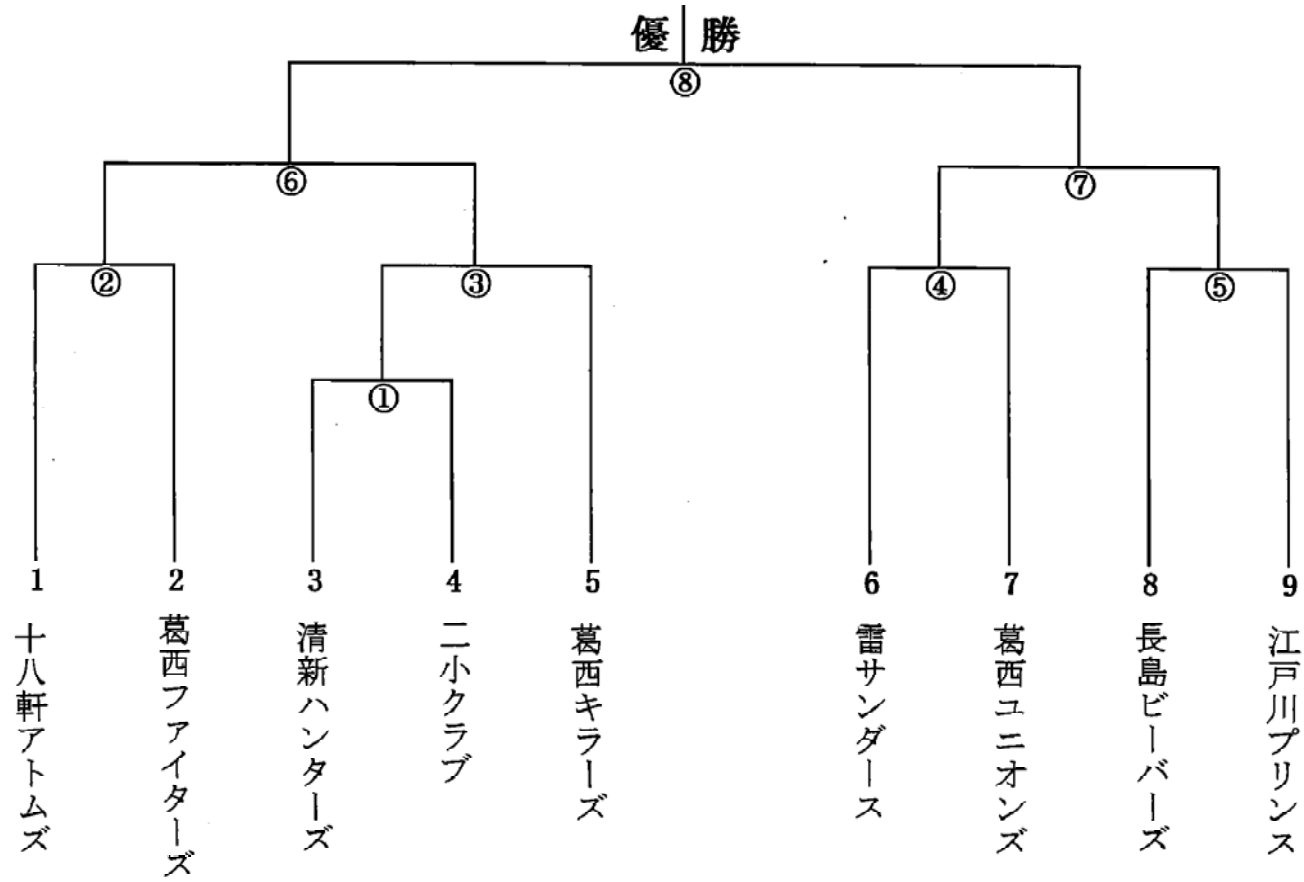
# 平成22年度・葛西少年野球連盟春季大会

## Aの部



# 平成22年度・葛西少年野球連盟春季大会

## Bの部



平成22年度葛西少年野球連盟春季大会 クリ-グ プレイング

Aリーグ

- 1 ゴールデンタイガー
- 2 雷サンダース
- 3 七船スターズ
- 4 葛西キラーズ
- 5 西船ブルースカイB
- 6 八幡シャークス

Bリーグ

- 7 船堀ダックスクラブ
- 8 葛西ユニオンズ
- 9 みどりクラブ
- 10 ニ小クラブ

Cリーグ

- 11 葛西ファイターズA
- 12 葛西ファイターズB
- 13 船六フェローズ
- 14 江戸川プリンス
- 15 清新ハンターズ
- 16 長島ビーバーズ
- 17 ホワイトウイングス

Dリーグ

- 18 西船ブルースカイA
- 19 江戸川ファイターズ
- 20 船四アタックス
- 21 ブルーシャークスクラブ
- 22 十八軒アトムズ



## 葛西少年野球大会要領

- I 試合方法 トーナメント方式とする。
- |     |      |             |
|-----|------|-------------|
| 小学生 | Aチーム | 7回戦 (決勝も同じ) |
|     | Bチーム | 7回戦         |
| 中学生 |      | 7回戦         |
- II 試合時間 小学生 Aチーム 1時間40分  
Bチーム 1時間30分  
中学生 1時間40分
- ※ 同点でインニング終了後、または、時間過ぎの場合は、サドン方式(無死満塁、継続打順)を  
2回行い、その後抽選。  
決勝戦は、時間制限なし。サドン方式採用。コールドゲーム採用。
- III 得点によるコールドゲーム
- |     |      |                     |
|-----|------|---------------------|
| 小学生 | Aチーム | 3回15点、4回10点、5回以降7点差 |
|     | Bチーム | 3回10点、4回以降7点差       |
| 中学生 |      | 3回15点、4回10点、5回以降7点差 |
- IV 降雨、日没、強風によるコールドゲーム
- |     |      |          |
|-----|------|----------|
| 小学生 | Aチーム | 5回終了にて成立 |
|     | Bチーム | 5回終了にて成立 |
| 中学生 |      | 5回終了にて成立 |
- V 試合球
- |     |        |           |
|-----|--------|-----------|
| 小学生 | A・Bチーム | C号(連盟公認球) |
| 中学生 |        | B号(連盟公認球) |
- VI 試合上の注意事項
- ベンチは抽選で決定する。  
なお、決勝、準決勝はジャンケン又は抽選とする。
  - 選手の出場は登録選手に限る。登録選手は1チーム11名以上とする。  
(登録以外の選手が出場した場合は没収試合とする。)
  - 試合中ベンチに入れる人数は、チーム代表者、監督、コーチ2名、スコアラーの計5名、選手20名、合計25名とする。
  - 選手、監督、コーチは統一したユニホーム(帽子、ストッキング等)着用。
  - 背番号は選手0~27番とし主将は10番、監督30番、コーチ28・29番とする。(代理監督は必ず28、29番のコーチが行い、試合前に相手チーム及び当該審判に報告すること。)
  - 各チームは試合開始1時間前にグラウンドに集合し、当日のメンバーの登録確認を済ませること。  
第1試合は、30分前とする。(時間厳守)
  - 登録選手の背番号に変更があった場合(正当な理由がある場合)はメンバー表提出のときに申し出る。
  - 試合予定時間になっても来ない場合は棄権とみなす。(連盟より警告)
  - 金属バット、マスクはJ S B B公認のものに限る。(木製バットを1本用意)
  - ヘルメット着用。(小、中学生・打者、走者、ベースコーチ、捕手)
  - 捕手は必ず投球練習時から、プロテクター、レガース、ヘルメット、マスクを着用する。
  - 金属ツメ付きスパイクの使用禁止。
  - 小学生の変化球は禁止。(審判の判定、警告)
  - 打者は投球毎に、打席をはずさない様にする。
  - 抗議権は、監督、主将、当該プレーヤーとする。
  - 試合中ベンチ内禁煙。(ベンチ入りの指導者はむやみにベンチを離れない。)
  - プレーヤー及び審判員に対し好ましくない野次や個人攻撃は絶対に慎むこと。
  - いかなる理由があっても「暴力行為」「不正登録したチーム」に対しては、連盟より適切な警告を発する。
  - 大会に参加するチームは、必ずスポーツ保険に加入すること。

- 試合に関する一切の事故は、連盟はその責任を取らない。
  - その他、上記に記載されていない方法と規則は、全日本軟式野球連盟の規則に準ずる。
- 平成18年3月

葛西少年野球連盟 大会実行委員会 審判部

## 葛西Cリーグ大会要領

- I 試合方法
- 参加資格 男子4年生以下のチームで編成、スポーツ保険に加入していること。
  - 各チーム抽選により各ブロックに分け、リーグ戦方式とする。
  - 各ブロックにブロック長1名、副ブロック長2名を置いて運営する。
  - 試合の組み合わせ・日程は、ブロック長、副ブロック長にて協議決定し、役員及び審判部と各チームに連絡する。
  - 使用球は、健康C号ボールとし、大会本部より提供するものとする。
  - 審判は、審判部の他ブロック長の指示に従い各チーム1名ずつで構成するものとする。
  - 投手板と本塁間の距離は14m、本塁~2塁及び1塁~3塁の距離は29.7m、各塁間は、21mとする。(ホームベースは大人用を使用する。)
  - 各チームはブロック長、副ブロック長の指示に従い協力すること。
  - 各週の日程終了後、ブロックごと反省会を開き、次週の日程の確認をすること。
  - 日程、グラウンド等の都合により連盟役員会の承認をえて、一回戦を全チームで戦い、勝組・負組の2ブロックに分かれてトーナメント方式で行うこともある。
- II 取り決め事項
- 監督、コーチ、選手は登録のこと。中・A・Bチームの監督に登録された監督はCチームの監督に登録できない。
  - 選手の追加登録はできる。ただし、当日試合前にブロック長に追加登録用紙を提出のこと。
  - A・Bの部に登録した4年生以下の選手はCの部にも登録できる。
  - Aチームに登録のない場合でもCリーグに参加できる。ただし、スリーヘッターは禁止する。
  - 選手の多いチームは単独チームが13名以上に編成されている場合のみ、2チームまで参加できる。(ブロックは別出場)
  - 選手の少ないチームは少ないチーム同志、合併し参加できる。  
ユニホームは同一でなくてもよいが、背番号は重複しないこと。
  - ライン引き等のグラウンド整備は各チームより1名出して行う。  
(石灰・用具はブロック長が責任を持つ。)
- III 試合上の規則
- 試合は5回戦とし延長戦は行わず引き分けとする。ただし、トーナメント方式の場合は、サドン方式(無死満塁・任意打順)を行う。
  - 一試合1時間20分で時間切れ後新しいインニングに入らないこと。
  - コールドゲームは3回10点、4回7点差とする。また、強風・降雨・日没によるコールドゲームは3回にて成立する。
  - ベンチは数字の若い方が一塁側、攻守はシートノック前にジャンケンで決める。ただし、トーナメント方式の場合は数字の若い方が1塁側とし後攻とする。(中・B試合上の注意事項1に準じる。)
  - ベンチの明け渡しは速やかに、シートノックは5分で交替し後攻チームより行う。
  - 金属バット使用の場合はJ S B B規格のバットに限定する。
  - 捕手は必ずプロテクター及びレガース、ヘルメットを着用する。
  - 打者・走者及びベースコーチは必ずヘルメットを着用する。
  - デットボールを採用する。
  - その他、規則については葛西少年野球連盟の規則に準ずる。
- IV 表彰
- 優勝、準優勝、第3位まで表彰する。(リーグ戦方式、同勝同敗は得失点差で決める。)
- 平成4年3月

葛西少年野球連盟 大会実行委員会 審判部